科目ナンバー	PSY-1-001	-sn		科目名	コミュ	一ク 一ンヨ	ノ抆法		
<u> </u>	三井 里恵					単位数	2		
概要	田瀬中及子朔 2020年及 前朔 単位数 2 私たちはみな、社会の一員として日々の生活を送っています。これを換言すれば、私たちは人と人とのつながり無くしては生きていくことができない生き物である、といえるでしょう。また近年、さまざまな場面で「コミュニケーション」という言葉を目にします。現代社会の高度情報化・グローバル化にともない、コミュニケーションの重要性は、ますます高まっていくことでしょう。こうした背景から、この科目ではまず、主に心理学の視点から、私たちのコミュニケーションを支える理論について学びます。次に、学んだ理論を援用しながら、グループワークなどの演習を行い、より円滑で効果的なコミュニケーションについて学びます。このような理論と実践の往復によって、コミュニケーションについての理解を深める								
到達目標	コミュニケー論や方法を与	ことを目指します。 コミュニケーション技法では、以下の4点を目標とします。(1)心理学におけるコミュニケーションの理論や方法を学び、理解すること。(2)物事を客観的・多角的視点から捉える姿勢を身につけること。(3)対人関係場面における効果的な聞き方・話し方を身につけること。(4)社会における人間関係やコミュニケーションについての理解を深めること。							
「共愛12の力」と	≥の対応								
識見		自律する力		コミュニケーショ	ケーションカ		問題に対	問題に対応する力	
共生のための知	識	自己を理解する力		伝え合う力	(Э	分析し、	思考する	カ
共生のための態	度	自己を抑制する力		協働する力	(C	構想し、乳	実行する	カ
グローカル・マイ ンド	•	主体性		関係を構築する	5カ (Э	実践的ス	キル	0
教授法及び課題	の ミュニケー:	ションワークを行います	t。コミュニ·	ケーションワーク	の内容	タマングラック マップ マップ アイマング アイス	メンバーに	は毎回のき	テ
フィードバック方 法	ーマに応じ 業に向けた 、コメントに *履修学生	て異なります。加えて 課題を課します。提出 よるフィードバックを行 の理解度や興味・関ル	、毎回の授 出された意り fいます。 謂 心に応じて、	業終了後にリア 見や質問につい 関題の具体的な「	クション ては、 内容や 形態を	ン・ペーパ- 欠回の授業 形式につい 変更する ^は	ーの提出は 美にて教室 Nては適宜 場合があり	さよび次に でシェア な指示しま	回の授 しながら
フィードバック方 法 アクティブラーニ	ーマに応じ 業に向けた 、コメントに *履修学生	て異なります。加えて 課題を課します。提出 よるフィードバックを行 の理解度や興味・関ル サービスラ	、毎回の授 された意! テいます。謂 ひに応じて、 ラーニング	業終了後にリア 見や質問につい 課題の具体的な「 授業の内容や	クション ては、 内容や 形態を	ン・ペーパ- 欠回の授業 形式につい 変更する ^は 課題解決型	ーの提出は 美にて教室 ハては適宜 場合があり 型学修	および次に でシェア ご指示しま ります。	回の授 ひながら ます。
フィードバック方 法 アクティブラーニ 受講条件 前	ーマに応じ 業に向けた 、コメントに *履修学生 ング 本科目は理	て異なります。加えて 課題を課します。提出 よるフィードバックを行 の理解度や興味・関ル サービスラ 理論と実践との往復を	、毎回の授 された意! けいます。 謂 いに応じて、 ・ーニング 通して、コミ	業終了後にリア 見や質問につい 課題の具体的なは 授業の内容や	クション ては、が 内容や 形態を を学び	ン・ペーパ- 欠回の授業 形式につい 変更する ^は 課題解決型 ます。よっ	一の提出は 美にて教室 いては適宜 場合があり 世学修 で、座学刑	および次に でシェア でシェア で指示しま リます。 ド式の講	回の授 ひながら ます。
フィードバック方 法 アクティブラーニ	ーマに応じ 業に向けた 、コメントに *履修学生 ング 提 本科目は理 ならず、グ 最終評価に 点が満点で	て異なります。加えては課題を課します。提出はるフィードバックを行の理解度や興味・関ループラーク等の演習は平常点60%、最終してあったとしても、最終また、提出期限までに	、毎回の授 された意! けいます。 詩 いに応じて、 ラーニング 通して、コミ はおいても パート40%	業終了後にリア 見や質問につい 課題の具体的なに 授業の内容や ラスニケーション・ 受講生の積極 の計100%とと 提出がなされな	クション 大なでは、 大容態 が を学がない。 だいった	ン・ペーパー 欠回 形式について 変更する 課題解決 ます。 よ協力 総合的に 場合には	ーの提出は 美にて教室 いては適宜 場合があり 型学修 で、求めま 評価を行い 単位認定	および次り はでシェア は指示しまります。 ります。 ります。 がます。な をすること	回の授しながらます。
フィードバック方 法 アクティブラーニ 受講条件 前 科目 アセスメントポリ	ーマに応じ 業コメントに *履修学生 ング 提 本科目は理ならず、評価に 点がません。こ してください 適宜配布し	て異なります。加えては課題を課します。提出はるフィードバックを行の理解度や興味・関連サービスラ 理論と実践との往復を ループワーク等の演習は平常点60%、最終レジあったとしても、最終また、提出期限までにいます。	、毎回の授 されたす。説 ういます。ごて、 うして、でも 通していても がポート40% 提出された 提出された	業終了後にリア 見や質問につい 課題の具体的なは 授業の内容や シュニケーション 、受講生の積極 の計100%とと 提出がなされな なかった最終レポ	クシは容態を強いていた。	ン・ペーパー 欠形変 果まかと 要題 すかと 会合 と は り に は り い に す り と り に り る は り る ら る ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	一の提出は といてはがあります。 というないではないで、 はいではないでは、 はいでは、 もいでは、 もいでは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとも、 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。	および次に でいま でいます います こと ままること 提出 期間	回の授いしながらます。
フィードバック方法 アクティブラーニ 受講条件 前 科目 アセスメントポリ シー及び評価方 教材	ーマに応じ 業コメントに *履修学生 ング 本科目は理ならが、評価点 点まましてください 適宜本有し	て異なります。加えては 課題を課します。提出よるフィードバックを行の理解度や興味・関ル サービスラ 即論と実践との往復を ループワーク等の演習は平常点60%、最終レであったとしても、最終また、提出期限までに	、毎回の授 されたす。詩 ういます。で うしたいで 通いポート409 がポート40の 提出された に理学」	業終了後にリア 見や質問についる 課題の具体的なは 授業の内容や ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	クで内形を駆っていたは一つでは容能をしている。	ン・ペーパ・ 大の形変 関すかい ではす 解まない いたす 解まない いたは は いたしませ イツ・ホッ	一の提出は といてはがあります。 というないではないで、 はいではないでは、 はいでは、 もいでは、 もいでは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとも、 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。	および次に でいま でいます います こと ままること 提出 期間	回の授いしながらます。
フィードバック方 法 アクティブラーニ 受講条件 前 科目 アセスメントポリ シー及び評価方 教材 参考図書	ーマに応じ 業に ・ででは ・でででででででででできる。 ・ででででででででででででででででででででででででででででででできる。 ・ででででででできる。 ・ででででででできる。 ・ででででででできる。 ・ででででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででででできる。 ・でできる。 ・ででででできる。 ・でできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででででででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででででででででできる。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	て異なります。加えては関を課します。提出はるフィードバックを行の理解度や興味・関ループフーク等の演習は平常点60%、最終してあったとしても、最終また、提出期限までにい。	、毎回の授 されたす。詩 ういます。で うしたいで 通いポート409 がポート40の 提出された に理学」	業終了後にリア 見や質問についる 課題の具体的なは 授業の内容や ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	クで内形を駆っていたは一つでは容能をしている。	ン・ペーパー 大の形変 関すい のではす 解まない 会合は はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	一の提出は といてはがあります。 というないではないで、 はいではないでは、 はいでは、 もいでは、 もいでは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとも、 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。 も。	および次に でいま でいます います こと ままること 提出 期間	回の授いしながらます。
フィードバック方 法 アクティブラーニ 受講条件 前 科目 アセスメントポリシー及び評価方 教材 参考図書	ーマに応じ 業に ・ででは ・でででででででででできる。 ・ででででででででででででででででででででででででででででででできる。 ・ででででででできる。 ・ででででででできる。 ・ででででででできる。 ・ででででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででででできる。 ・でできる。 ・ででででできる。 ・でできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででででででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででででででででできる。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	て異なります。加えては関を課します。提出はるフィードバックを行の理解度や興味・関ループフーク等の演習は平常点60%、最終してあったとしても、最終また、提出期限までにい。	、毎回の授 されたす。詩 ういます。で うしたいで 通いポート409 がポート40の 提出された に理学」	業終了後にリア 見や質問についる 課題の具体的なは 授業の内容や ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	クで内形を駆っていたは一つでは容能をしている。	ン・ペーパー 大の形変 関すい のではす 解まない 会合は はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	一の提出は といてはがあります。 というないではないで、 はいではないでは、 はいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。	および次に でいま でいます います こと ままること 提出 期間	回の授いしながらます。
フィードバック方 法 アクティブラーニ 受講条件 前 科目 アセスメントポリ シー及び評価方 教材 参考図書 内容・スケジュー 1週目	ーマに応じません。 は は が は か は が ま ま て く 配 真 真 異 ・ル	て異なります。加えては関を課します。提出はるフィードバックを行の理解度や興味・関ループフーク等の演習は平常点60%、最終してあったとしても、最終また、提出期限までにい。	、毎回の授言 はいまから 一旦 はいまから 一旦 はいまから かんしょう でんしょう でんしょう でんしょう はい	業終了後にリア 見や質問についる 課題の具体的なは 授業の内容や ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	クで内形を駆っていたは一つでは容能をしている。	ン・ペーパー 大の形変 関すい のではす 解まない 会合は はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	一の提出は といてはがあります。 というないではないで、 はいではないでは、 はいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。	および次に でいま でいます います こと ままること 提出 期間	回の授いしながらます。
フィードバック方 法 アクティブラーニ 受講条件 前 科目 アセスメントポリ シー及び評価方	ーマに応じた、コメントログ 本ならが 評価点では、 ままてく配面 真 回本 2005 「異 イントログクシ	て異なります。加えては関を課します。提出はるフィードバックを行の理解度や興味・関ルードスラーク等の演習は平常点60%、最終しまた、提出期限までにい。 は平常点60%にあったとしても、最終また、提出期限までにいた。 は平は、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	、毎回の授います。説で、一旦では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦で	業終了後にリア 見や質問についる 関題の具体的なは 授業の内容や シュニケーション 、受講生の積極 の計100%とと 提出がなされな なかった最終レポート 中公新書、本名付 一ことばと文化」	クで内形を駆っていたは一つでは容能をしている。	ン・ペーパー 大の形変 関すい のではす 解まない 会合は はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	一の提出は といてはがあります。 というないではないで、 はいではないでは、 はいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もいでは、 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。 もっと。	および次にでいます。 「おます」では、います。 「おます」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、いまず、います。 「おまず」では、いまず、います。 「おまず」では、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず	回の授いしながらます。
フィードバック方 法 アクティブラーニ 前 アクティグラーニ 前 アシー 入 が評価の 数材 参考 容・ス の 週 業 学 で の り の り の り の り の り り の り り り り り り り	ーマに応じた、コメントログ 本ならが 評価点では、 ままてく配面 真 回本 2005 「異 イントログクシ	て異なります。加えては、課題を課します。提出はるフィードバックを行の理解度や興味・関ループワーク等の演習は平常点60%、最終しまた、提出期限までにい。 はマコミュニケーでは、また、提出期限までにいた。 はマコミュニケー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、毎回の授います。説で、一旦では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦では、一旦で	業終了後にリア 見や質問についる 関題の具体的なは 授業の内容や シュニケーション 、受講生の積極 の計100%とと 提出がなされな なかった最終レポート 中公新書、本名付 一ことばと文化」	クで内形を駆っていたは一つでは容能をしている。	ン・ペーパー 大の形変 関すい のではす 解まない 会合は はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	一のにてはが 修 座め でで、 大田位のでで、 水田位のでで、 水田位のでで、 水田位のでで、 水山 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	および次にでいます。 「おます」では、います。 「おます」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、いまず、います。 「おまず」では、いまず、います。 「おまず」では、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず	回の授 しながら ます。
フィードバック方 フィードバック方 法 アクテ条件 アシースが 教材 考 容 日 ででは、 ででは、 ででは、 では、 では、 では、 では、	ーマに向けたに ・スター () () () () () () () () () (て異なります。加えては、課題を課します。提出はるフィードバックを行の理解度や興味・関ループワーク等の演習は平常点60%、最終しまた、提出期限までにい。 はマコミュニケーでは、また、提出期限までにいた。 はマコミュニケー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、 毎れまで ラー 通れ ポル 提	業終了後にリア 見や質問について 課題の具体的なり 一を一を記している。 「ではない。」 「ではないではないでは、かった最終レポートなはと文化」 「では、かったようでは、大きない」」 「では、大きない」」 「では、大きない」」 「では、大きない」」 「では、大きない」」 「では、大きない」」 「では、大きない。」 「では、たきない。」 「では、たきない。」 「では、たきない。」 「では、たきない。」 「では、たきない。」 「では、たきない。」 「では、たきない。」 「では、たきない。」 「では、たきない。」 「では、たきない。」 「では、たきない。」 「では、たきない。 「では、 ときない。 「では、 ときない。 ときない。 ときない。 ときない。 ときない。 ときない。 ときない。 ときない。 ときない。 ときない。 ときな、 ときない。 ときな、 ときない。 ときな、 ときな、 ともな、 ともな。 ともな。 ともな。 とも、 と	クで内形を駆したが、「言三」というでは容態を対してついたというできます。	ン欠形変 課ま参 総場受 ベークのにす 解 よ協的にしま マッ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ	一のにてはが 修 座め でで、 大田位のでで、 水田位のでで、 水田位のでで、 水田位のでで、 水山 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	および次にでいます。 「おます」では、います。 「おます」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、います。 「おまず」では、いまず、います。 「おまず」では、いまず、いまず、います。 「おまず」では、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず、いまず	回の授 しながら ます。
フィード アク 講 アク 講目 アシー 対 オ オ マ マ の の の の の の の の の の の の の	ーマにからには、コを修りでは、コを修りでは、コを修りでは、コを修りです。 はまず かい はまず かい はまず かい はまず かい はまず かい はまず で	て異なります。加えては、課題を課します。提出はるフィードバックを行の理解度や興味・関ループスラーを実践との往復を選出します。とまた、最終をであったとしても、最終をであったとしまた、提出期限までにいます。 「ひとなります」を対している。 「は、このでは、最終をは、このでは、このでは、は、このでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	、 告されました - 通配 ポル 提 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	業終了後にリア 見や質問について 見を質問について 見を質問体的なり に一を表す。 を記しています。 を行います。 に課題の提出	クで内形を駆したが、「言三」というでは容態を対してついたというできます。	ン欠形変 課ま参 総場受 ベークのにす 解 よ協的にしま マッ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ	一のにてはが 修 座め でで、 大田位のでで、 水田位のでで、 水田位のでで、 水田位のでで、 水山 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	およびシェレコ で記すます。 で記すます。 で記すます。 でする期 ニ・竹 数	回の授 しながら ます。
フィードバック方 法 アクティブラーニ 前 科目 アセス及び評価 教材 参 内 圏 ママュー 1 授業 サ学修 でを 1 授業 サ学修	ーマにからには、コを修りでは、コを修りでは、コを修りでは、コを修りです。 はまず かい はまず かい はまず かい はまず かい はまず かい はまず で	て異なります。加えては課題を課します。提出はるフィードバックを行の理解度や興味・関ルービスラ理論と実践との等のの表としても、といったとしても、といったとしても、といったとして明とコミュニケー・フェー・ストーマを持ちます。 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、、います。」 「は、、、、います。」 「は、、、、います。」 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	、 告されました - 通配 ポル 提 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	業終了後にリア 見や質問について 見を質問について 見を質問体的なり に一を表す。 を記しています。 を行います。 に課題の提出	クで内形を駆したが、「言三」というでは容態を対してついたというできます。	ン欠形変 課ま参 総場受 ベークのにす 解 よ協的にしま マッ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ・オーツ	一巻いる学で、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	およびシェレコ で記すます。 で記すます。 で記すます。 でする期 ニ・竹 数	回の授 しながら ます。
フィー フィー 大 フー 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	- マにかたに - マにかたに - マにがたに - マにがたに - マにがたに - アント はまりがです。 - アント はまりがです。 - アント はまりがです。 - アント はまりがです。 - アント はまりがです。 - アント ないですがです。 - アント ないですがです。 - アント ないでする。 - アント ないできる。 - アント ないでする。 - アント ないでする。 - アント ないでする。 - アント ないでする。 - アント ないできる。 -	て異なります。加えては課題を課します。提出はるフィードバックを行の理解度や興味・関ルービスラ理論と実践との等のの表としても、といったとしても、といったとしても、といったとして明とコミュニケー・フェー・ストーマを持ちます。 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、います。」 「は、、、、います。」 「は、、、、います。」 「は、、、、います。」 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	、 はつい	業終了問にリアスを関している。 課題の具体内 シューン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	クで内形 を函しから 信三 においやを がないたは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ン欠形変	一覧にはいません。ファ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	およびシェレミ だすいを提 にはます。 ではます。 ではます。 ではます。 ではます。 ではます。 ではます。 ではます。 ではます。 ではます。 のはまる。 ではます。 のはまる。 ではます。 のはまる。 ではます。 のはまる。 ではます。 のはまる。 ではます。 のはまる。 ではます。 のはまる。 ではます。 のはまる。 ではます。 のはまる。 ではます。 のはまる。 ではます。 のはまる。 ではまる。 のと。 のと。 のと。 のと。 のと。 のと。 のと。 のと	回の授 いします。

授業学修内容	自分を知ること:他者とのコミュニケーションにおける自己理解の重要性を学びます 用いて自分自身がもつ心理的な傾向について考えてみましょう。	。さらに心理り	マファイス ファイス ファイス ファイス ファイス かっぱい アイス アイス かっぱい かいまた かいまた かいまた アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス
授業外学修内 容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
5週目			
授業学修内容	相手を知ること:コミュニケーションにおいて他者をより理解するために注意すべき点まえてコミュニケーションワークを行います。	点を学び、それ	にを踏
授業外学修内 容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
6週目		•	•
授業学修内容	認知的バイアスとコミュニケーション:人間が物事を判断しようとするときに働くメカコミュニケーションに及ぼす影響について学び、コミュニケーションワークを通してそす。		
授業外学修内 容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
7週目			
授業学修内容	セルフモニタリングと対人行動:コミュニケーション場面にあらわれる人間の思考やの知見から学びます。それを踏まえ、普段の自分の行動や考えについても振り返っ		
授業外学修内 容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
8週目			
授業学修内容	リフレーミング:他者と関係する中でうまくいかない経験をした人は少なくないでしょ ションワークを通して、そうした出来事を捉えなおすための考え方を学びます。	: う。 コミュニケ	
授業外学修内 容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
9週目		•	•
授業学修内容	伝えたいことは伝わるのか?:講義とワークを通して、コミュニケーションにおいて齟順事態とその要因について考え、学びます。	齬が生じてしる	 まう
授業外学修内 容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
10週目			
授業学修内容	伝えたいことを伝えるには?:コミュニケーションをより円滑に行うためのポイントにつ 内容を踏まえてコミュニケーションワークを行います。	いて学び、そ	Ø.
授業外学修内 容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
11週目			
授業学修内容	質問力:「質問」の重要性について心理学研究の手法から学び、それを踏まえてコミを行います。	ミュニケーショ	ンワーク
授業外学修内 容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
12週目			
授業学修内容	フォーマルコミュニケーション:時・場所・状況によって様々に変化するコミュニケーシ いて学びます。その内容を踏まえて、実際の場面を想定したコミュニケーションワー		
授業外学修内 容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
13週目			
授業学修内容	異文化理解とコミュニケーション:グローバル化が加速するこれからの社会において可欠です。その重要性と今後の課題について、講義と演習を交えて学びます。	 異文化理解(は必要不
授業外学修内 容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
14週目			
授業学修内容	コミュニケーションとその支援:障害をテーマとして、コミュニケーションを「支援」といます。その具体的な方法を学ぶことを通して、コミュニケーションへの理解を深めま		え
授業外学修内			

容	授業内容の振り返りおよび次回の授業に向けた課題の提出	時間数	1.5
15週目			
授業学修内容	まとめと今後の課題:これまで学んできたコミュニケーションの諸相について振り返り ンを交えながら、コミュニケーションに関する今後の課題について検討します。	l、ディスカッシ	1 3
授業外学修内 容	授業内容の振り返りおよび最終レポートの作成	時間数	4
上記の授業外学	修時間の合計	25	
その他に必要なり	<u> </u>	65	

Number	PSY-1-001-sn	Subject	Japanese Expression		
Name	三井 里恵(Mitui Rie)	Year and S emester	First semester for 2020	Credits	2
Course 0	Everyone live as member of society. In relationship and communication. Recenxts. Communication will be of growing i or the above reasons, this course aim torder to achieve that purpose, this could be arrived various theories of communications. Learning practically effective method	tly, you see the mportance in o develop a horse consist of ation from a particular to the second of	ne word "commun globalization and i blistic understandi two parts are as f perspective of psy	ication" in a informatizating of commfollows. (1) chology. (2	various conte ion society. F unication. In Lecture part:) Practice part